平成２５年度　群馬大学教育学部
教育人間科学系入試問題について

前期

教育人間科学系・小論文　「採点・評価のポイント」

特定の教科に限られない幅広い理解力・判断力・問題解決能力・表現力等を評価するために、小論文試験を実施している。

第一問は、市川伸一氏の著書『勉強法が変わる本――心理学からのアドバイス』のなかの「文章を理解する」という箇所の一部を読み、筆者の指摘する文章理解についての要約と、それをふまえて自身が考える文章理解について論述させる問題である。筆者が伝えたいことを理解できているか、またそれを的確に要約して表現できているか、さらに自分の意見を論理的・説得的に述べられているかといった観点から評価した。

第二問は、文部科学省がまとめた「平成21年度学校基本調査速報調査結果の要旨」に収載されている大学・短期大学への進学率の推移についてのグラフを提示し、このグラフから読み取れることをまとめさせる問題である。進学率の上昇、18歳人口の減少、進学率の男女差の縮小など、グラフから直接読み取れることに加え、18歳人口の減少によって大学の入学定員に対する競争率が低下し、その結果進学率が上昇するなどグラフをもとにした考察も含めて、適切な記述ができているかといった観点から評価した。